



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 株式会社メディックグループ 上場取引所 東  
 コード番号 2369 URL <http://www.medibic.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多見 浩次  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 窪島 肇 (TEL) 03-3222-0132  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績 (平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	138	△2.3	△183	—	△197	—	△202	—
24年12月期第3四半期	142	9.0	△126	—	△130	—	△133	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 △186百万円(—%) 24年12月期第3四半期 △130百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△7.75	—
24年12月期第3四半期	△6.47	—

(注) 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	786	327	41.7
24年12月期	412	365	86.2

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 327百万円 24年12月期 355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189	△8.7	△245	—	△262	—	△284	—	△10.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信【添付資料】4ページ「2. サマリー情報 (注記情報) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年12月期3Q	26,254,720株	24年12月期	24,629,720株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	一株	24年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年12月期3Q	26,124,500株	24年12月期3Q	20,690,633株

(注) 当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P.2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P.2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P.3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P.3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	P.4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P.4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P.4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P.4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	P.5
4. 四半期連結財務諸表 .....	P.6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P.6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P.8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	P.10
(4) セグメント情報等 .....	P.10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P.11
(6) 重要な後発事象 .....	P.11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、デフレ経済の解消と再生を掲げたアベノミクスへの期待感から、円高是正、株価上昇さらには経済マインドの好転などにより日本経済は徐々に回復の兆しを見せつつあります。

当社グループを取り巻く環境としましては、政府が推進する医療分野の成長戦略の取り組みのもと、iPS細胞などによる「再生医療」の早期実現、ゲノムコホート研究、バイオバンク基盤整備、「個別化(テーラーメイド)医療」などの取り組みが活発化しました。

このような状況のもと当社グループは、検体バンキングサービスを中心としたPGxサービスソリューションの営業強化及び薬剤の有効性と副作用のリスク判断を行う「おくすり体質検査」の販売を積極的に進めてまいりました。特に「おくすり体質検査」では、初めての直販サービスとなる「乳がん患者」のみをターゲットとした遺伝子解析サービスの立ち上げに取り組んで参りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績、セグメントの業績は、次のとおりであります。

	実績(千円)	対前年同期増減(千円)
売上高	138,951	3,327 減
営業損失	183,019	56,513 増
経常損失	197,395	66,765 増
四半期純損失	202,582	68,750 増

## バイオマーカー創薬支援事業

バイオマーカー創薬支援事業につきましては、PGx試験支援サービスの主体となる検体バンキングサービス、検体管理システム販売、RNA増幅試薬の販売及び臨床試験サポートを、国内外の製薬メーカー、アカデミック・研究機関に対して提供してまいりました。

検体管理・匿名化システムや研究用試薬の販売においては、主力の検体バンキングサービスなどを中心に新規顧客開拓に注力し、引き合い件数は増加しておりますが、価格競争や仕入価格の上昇による利益率の低下によりバイオマーカー創薬支援事業の売上高は101,415千円(前年同四半期比14.6%増)、セグメント利益(営業利益)は10,437千円(前年同四半期比54.6%減)となりました。

## テーラーメイド健康管理支援事業

テーラーメイド健康管理支援事業につきましては、PGx試験支援サービスにおけるノウハウを活用した個人向け健康管理支援サービスとして、「おくすり体質検査」「CYP2D6遺伝子検査」などの販売をクリニック、調剤薬局などを通じて行ってまいりました。

「CYP2D6遺伝子検査」では、「乳がん患者」のみをターゲットとした初めての直販サービスに取り組んでおり、今後はこれらの直販サービスの拡大に取り組む方針であります。

一方、非接触型体温計は、販売計画を下回った結果、テーラーメイド健康管理支援事業の売上高は6,099千円(前年同四半期比80.8%減)、セグメント損失(営業損失)は46,214千円(前年同四半期比89.0%増)となりました。

## 創薬事業

創薬事業につきましては、米国Eleison Pharmaceuticals, Inc. (Eleison社)が開発している抗がん剤Glufosfamide(グルフォスファミド)の支援に取り組んでおります。

Eleison社は、第 相臨床試験申請が遅延しておりましたが、平成25年10月7日付で、すい臓がん患者に対するグルフォスファミドの第 相試験を開始したとの発表があり、480人の登録患者に対してグルフォスファミドの安全性と有効性を評価するために実施されます。主要エンドポイントは、事前に指定された副次エンドポイントを含む全生存期間です。Eleison社は、この第 相試験のためのSPA(Special Protocol Assessment)を米国食品医薬品局(FDA)と協定を締結しており、試験完了

後の平成27年にNDA(新薬承認申請)をFDAに申請する計画です。

こうした状況下で当社グループは、Eleison社との共同開発支援パートナーとして、米国およびグローバルでの臨床試験の経過を注視しつつ、アジア地域におけるライセンス販売活動を積極的に進めているところでありますが、創薬事業における売上高の計上はなく(前年同四半期の創薬事業の売上高は704千円)、セグメント損失(営業損失)は3,434千円(前年同四半期は2,550千円の損失)となりました。

#### 投資・投資育成事業

投資・投資育成事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の営業投資有価証券売上高はマイルストーンによる入金31,435千円(前年同四半期比47.2%増)となり、保有株式の売却等はありませんでした。また、投資先の事業状況等の精査の結果、投資損失引当金繰入額3,643千円、営業投資有価証券評価損19,641千円を計上いたしました。これにより、セグメント損失(営業損失)は10,145千円(前年同四半期比203.9%増)となりました。

#### その他

当第3四半期連結累計期間におきまして、新株予約権の行使期間満了により新株予約権戻入益6,540千円を特別利益として、また平成25年2月7日付で設置した第三者委員会に係る調査費用10,000千円を特別損失として計上しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は786,121千円となり、前連結会計年度末に比べ373,414千円増加いたしました。主な要因としては、有形固定資産の増加102,667千円、のれんの増加341,670千円によるものであります。

負債は458,298千円であり、前連結会計年度末に比べ411,305千円増加いたしました。主な要因は、未払金の増加390,323千円、短期借入金の増加25,316千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ37,890千円減少し、327,822千円となりました。これは四半期純損失202,582千円を計上したものの、新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ79,025千円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月13日付「平成24年12月期決算短信」において公表いたしました平成25年12月期の連結業績予想につきましては、平成25年8月12日付で公表いたしました「平成25年12月期第2四半期累計期間業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更による当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失金額に与える影響は軽微であります。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、営業損失、経常損失、当期純損失及び営業活動におけるキャッシュ・フローにおきましても前連結会計年度まで継続してマイナス計上しており、当第3四半期連結累計期間におきましても営業損失183,019千円、経常損失197,395千円、四半期純損失202,582千円を計上するに至っており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該事象を解消するため、当社グループは経営合理化策等によりコスト削減に努めてまいりました。また、資金面においても、「4. 四半期連結財務諸表 (6) 重要な後発事象」記載のとおり、平成25年10月7日に第三者割当増資により合計699,925千円の資金調達を行いました。

以上により、決算短信発表日現在において、当社グループの資金面での安定性が増し、主要な事業活動を推進する当面の目的が立ちましたが、市場の発展等環境の変化に伴い、当社が新たな事業を展開する場合の必要資金は、現時点では不確定なものとなっております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	177,064	131,496
受取手形及び売掛金	50,751	51,610
営業投資有価証券	145,185	88,267
投資損失引当金	43,519	12,646
商品及び製品	194	153
仕掛品	17,338	14,972
貯蔵品	2,472	2,808
その他	10,751	23,350
貸倒引当金	-	11,340
流動資産合計	360,240	288,671
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	-	83,285
その他(純額)	3,130	22,512
有形固定資産合計	3,130	105,798
無形固定資産		
のれん	-	341,670
その他	25,453	18,839
無形固定資産合計	25,453	360,509
投資その他の資産		
投資その他の資産	28,691	35,951
貸倒引当金	4,810	4,810
投資その他の資産合計	23,881	31,141
固定資産合計	52,466	497,449
資産合計	412,707	786,121

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	4,023	7,773
未払金	2,654	392,977
未払法人税等	8,276	5,041
1年内返済予定の長期借入金	-	2,077
株主、役員又は従業員からの短期借入金	-	23,238
その他	32,038	20,526
<b>流動負債合計</b>	<b>46,993</b>	<b>451,635</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	-	6,663
<b>固定負債合計</b>	<b>-</b>	<b>6,663</b>
<b>負債合計</b>	<b>46,993</b>	<b>458,298</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,346,667	2,425,692
資本剰余金	2,879,864	2,958,889
利益剰余金	4,838,586	5,041,168
<b>株主資本合計</b>	<b>387,945</b>	<b>343,413</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>32,081</b>	<b>15,856</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>32,081</b>	<b>15,856</b>
<b>新株予約権</b>	<b>9,815</b>	<b>229</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>33</b>	<b>37</b>
<b>純資産合計</b>	<b>365,713</b>	<b>327,822</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>412,707</b>	<b>786,121</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	142,278	138,951
売上原価	74,755	96,484
売上総利益	67,522	42,466
販売費及び一般管理費	194,028	225,486
営業損失( )	126,506	183,019
営業外収益		
受取利息	20	34
投資損失引当金戻入額	2,278	-
受注損失引当金戻入額	811	-
貸倒引当金戻入額	1,533	-
雑収入	803	806
営業外収益合計	5,448	841
営業外費用		
支払手数料	7,257	11,592
為替差損	328	1,105
その他	1,986	2,519
営業外費用合計	9,572	15,217
経常損失( )	130,630	197,395
特別利益		
固定資産売却益	14	-
新株予約権戻入益	-	6,540
特別利益合計	14	6,540
特別損失		
固定資産廃棄損	95	-
特別調査費用	-	10,000
特別損失合計	95	10,000
税金等調整前四半期純損失( )	130,712	200,855
法人税、住民税及び事業税	3,120	1,728
法人税等合計	3,120	1,728
少数株主損益調整前四半期純損失( )	133,832	202,584
少数株主損失( )	0	2
四半期純損失( )	133,831	202,582

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	133,832	202,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,633	16,224
その他の包括利益合計	3,633	16,224
四半期包括利益	130,198	186,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,198	186,357
少数株主に係る四半期包括利益	0	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バイオマ ーカー創薬支 援事業	テーラーメ イド健康管 理支援事業	創薬事業	投資・投資 育成事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	88,477	31,737	704	21,359	142,278		142,278
セグメント間の内部売 上高又は振替高							
計	88,477	31,737	704	21,359	142,278		142,278
セグメント利益又は損失 ( )	22,980	24,446	2,550	3,338	7,355	119,150	126,506

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 119,150千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バイオマ ーカー創薬支 援事業	テーラーメ イド健康管 理支援事業	創薬事業	投資・投資 育成事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	101,415	6,099		31,435	138,951		138,951
セグメント間の内部売 上高又は振替高							
計	101,415	6,099		31,435	138,951		138,951
セグメント利益又は損失 ( )	10,437	46,214	3,434	10,145	49,357	133,662	183,019

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 133,662千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月13日付発行の第5回新株予約権(第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権)について権利行使を受けております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が79,025千円、資本剰余金が79,025千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,425,692千円、資本剰余金が2,958,889千円となっております。

## (6) 重要な後発事象

## (第三者割当による新株式の発行)

当社は、平成25年9月20日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行について決議し、平成25年10月7日付で払い込みを受けております。

なお、本新株式の発行概要は以下のとおりであります。

(1) 発行した新株式の種類及び数	当社普通株式	1,955,100株
(2) 発行価額	1株につき	358円
(3) 発行価額の総額		699,925,800円
(4) 増加した資本金及び資本準備金の額	資本金	349,962,900円
	資本準備金	349,962,900円
(5) 割当先及び割当株式数	株式会社夢真ホールディングス	558,600株
	株式会社夢テクノロジー	279,300株
	A-1合同会社	837,900株
	日野洋一	279,300株
(6) 資金使途	遺伝子解析設備の増強資金	
	アニマルステムセル社完全子会社化資金	
	検体保管施設拡充資金	
	本社移転及び運転資金	

これにより、平成25年11月12日現在、資本金2,775,655千円、資本剰余金3,308,852千円となりました。